

【**1**羽田線（東品川栈橋・鮫洲埋立部）更新事業の概要】

1羽田線（東品川栈橋・鮫洲埋立部）は、1964（昭和 39）年の東京オリンピック開催等の社会的要請から、用地買収が必要ない海上部に建設され、1963（昭和 38）年の開通から 50 年以上が経過しました。

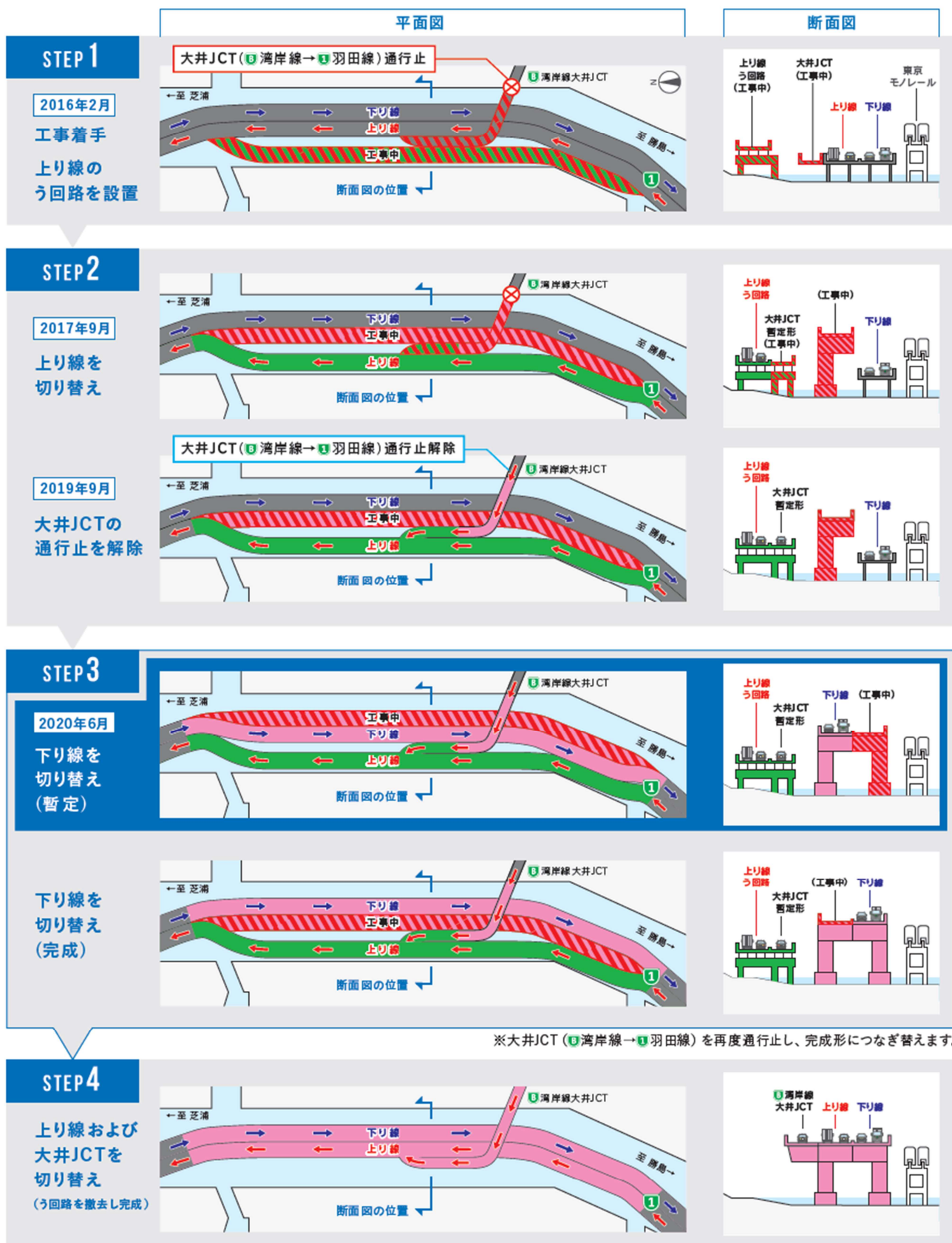
日々、点検・補修を行っていますが、1 日平均約 7 万台の利用がなされている過酷な使用状況や京浜運河内の海水面と高速道路構造物が極めて近い等の激しい腐食環境などから、コンクリートの剥離や鉄筋の腐食等の損傷が多数発生しており、長期的な安全性を確保する観点から、道路構造物の更新（造り替え）が必要となりました。

そのため、この区間を長期耐久性・維持管理性・走行安全性に優れた構造に造り替えています。

【**1**羽田線（東品川栈橋・鮫洲埋立部）更新事業の進め方】

- ・更新に際しては、可能な限り通行止めすることなく交通を確保するため、う回路を設置し、交通を切り替えながら造り替えています。
- ・**1**羽田線（上り）については、2017 年 9 月 14 日にう回路に交通を切り替えて、その後、旧上り線を撤去し、将来上り線となる更新線の工事を進めてきました。
- ・今般、この更新線の完成に伴い、2020 年 6 月 16 日（火）午前 1 時に**1**羽田線（下り）の交通を更新線に切り替えます。（荒天等の場合は、翌日以降同時刻に順延）
- ・**1**羽田線（下り）の交通切り替え後は、旧下り線を撤去し、引き続き、将来下り線となる更新線の工事を進めていきます。

【1羽田線（東品川桟橋・鮫洲埋立部）更新事業 施工ステップ】



【1羽田線（東品川栈橋・鯨洲埋立部）更新事業 工事状況写真（2020年5月末時点）】



東品川付近（都心方面を望む）



鯨洲付近（羽田空港方面を望む）